

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2010 年 10 月 3 日

派遣者氏名 (専門分野)	■■■■■■■ (演劇学)
--------------	-----------------

派遣期間	2010 年 8 月 27 日 ~ 2010 年 9 月 9 日
------	----------------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
カナダ	バンクーバー	ブリティッシュ・コロンビア大学図書館 ブリティッシュ・コロンビア大学人類学博物館

利用マニュアル (利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入)

ブリティッシュ・コロンビア大学の図書館は、カナダで 2 番目に大きい研究図書館である。図書館は専門分野ごとに分かれており、バンクーバー・キャンパス内に 9 つ、オカナガン・キャンパスに 1 つ、そしてキャンパス外に 4 つある。全体で 600 万を超える蔵書数を有し (地図やマイクロ・フォーム、そしてビデオなどを加えるとその数はさらに増す)、データベースも豊富である。

今回は、人文系の文献を集めているウォルター・シー・コーナー図書館を利用した。ここは部外者でも特別な書類なしで入館できる。カナダ演劇に関する資料も豊富で *Canadian Theatre Review* や *Cahiers de théâtre Jeu* などの雑誌が揃っている。さらに、学生は館内だけでなく自宅からもすべてのデータベースにアクセスすることができるようになっている。部外者も ID (パスポートや免許証など) を提示すれば、アクセス可能となる。データベースの中でも、演劇を研究する学生にとって *International Bibliography of Theatre & Dance* は非常に役立つ (このデータベースは阪大にはないので是非取り入れて欲しい)。

レファレンスには、それぞれの分野別に専門の担当者がおり、資料の探し方などを詳しく教えてもらうことができる。また、図書館内で使用した本は、逐一もとの本棚に戻す必要がなく、本棚近くに置かれている棚に戻すだけで良いため、学生は時間を節約できる。さらに、学生が間違えて返却したため本が紛失することも防ぐことができる。

また、この大学にはキャンパス内に人類学博物館がある。学生や教員は無料であるが、部外者は大人 15.68 ドル、学生は 13.44 ドルである。入館チケットとしてシールを受け取り、それをつけていれば 1 日中出入りが可能である。展示物の写真を自由に撮ることができるし、博物館のガイドツアーも受けられる。館内には、トーテムポールや木箱、カヌーなど先住民族の作品が数多く展示されている。中でもカナダの 20 ドル札にも描かれているビル・リードの“The Raven and the First Men”の彫刻は見応えがある。館内にはカナダ国内の先住民文化だけでなく、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、南米などのコレクションも展示されており、異文化を知る上でも充実した内容となっている。また屋外では、ハイダ族の住居とトーテム・ポールが展示されており、先住民の生活の場を垣間見ることができる。さらに先住民文化に興味を持った人のために、ミュージアムショップでは、先住民のアート作品だけでなく書籍なども販売されている。